

シンポジウム「東京湾まるごと博物館」

～戦争遺跡と文化財を活かした館山と追浜のまちづくり～

日時：平成 25 年 7 月 23 日(火) 10:00～12:00

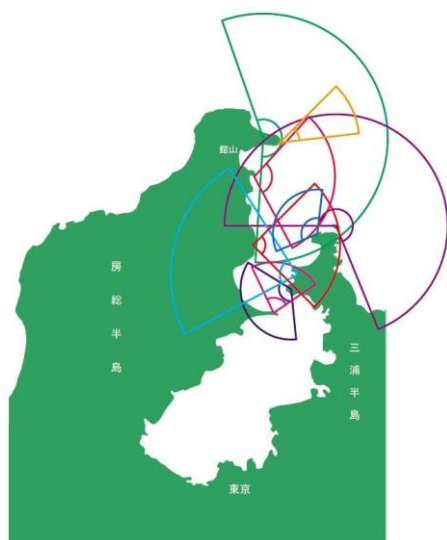
場所：館山市中央公民館 第一集会室 参加費：無料

報告 1 横須賀・追浜の現況と課題

報告 2 館山の実践と今後の展開

討議 戦跡等を活かしたまちづくりに向けての地域連携

コメンテーター：岡田昌彰（近畿大学教授）



東京湾をはさんだ房総半島と三浦半島は、古代からつながりが深く、類似した自然や歴史文化を共有しています。特に近代では東京湾要塞地帯として、ともに重要な戦争遺跡が多く残っています。

平和学習の場として一般公開されている赤山地下壕跡は、館山市指定史跡です。一方、関東大震災で東京湾に沈んでいた第三海堡(かいほう)は、近年、国土交通省によって追浜に引き揚げられ、横須賀市指定重要文化財になりました。

NPO安房文化遺産フォーラムとNPOアクションおっぱまは、ともに戦跡や文化財などを保存活用し、地域全体を「まるごと博物館」ととらえ、市民が主役のまちづくり活動を進めています。この機会にお互いの事例を学び合い、「東京湾まるごと博物館」として広域連携の可能性を考え、交流を深めたいと思います。

要塞とは、外敵から重要な地点を守るための構造物、とりでのことです。上の逆さ地図は、明治 13(1880)年から築かれた「東京湾要塞」の砲台の位置と射程範囲を示しています。狭い浦賀水道には、砲台を設置した3つの海堡(人工島)が 30 年がかりで作られましたが、関東大震災で被災し、第三海堡は海中に沈みました。軍事施設の復旧が急がれるなか、館山湾が大規模に埋め立てられて、震災7年後の昭和 5(1930)年に館山海軍航空隊が開かれました。

主催：NPO法人アクションおっぱま、NPO法人安房文化遺産フォーラム

後援：横須賀市教育委員会、館山市教育委員会、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

館山まるごと博物館めぐり【オプションバスツアー・要予約】

申込：FAX0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp 〆切 7月 15日

参加費 1,500 円(見学科・ガイド料・ガイドブック代・保険料等)／昼食 800 円は要予約

13:00～17:00 赤山地下壕跡、青木繁《海の幸》ゆかりの漁村(小谷家住宅・記念碑・布良崎神社)

フリガナ

名前 _____ (男・女) 年齢 _____ 歳 昼食希望 (有・無)

住所 _____ 電話 _____

NPO法人アクションおっぱま とは…

<http://www.action-oppama.org/>

横須賀市追浜地区は、海側の工場地帯、丘の上の住宅地、商店街の広がる市街地など、日本の大都市の典型のようなところですが、しかし、少子高齢化などの状況の変化で、地域は多くの課題を抱えています。また、多くの歴史的資産がある魅力的なまちですが、それが活用されているとはいいいきれません。追浜を「だれでもが安心して暮らせるまち」「地域にある資源を活かした魅力的なまち」にするため、市民、企業、大学、行政が連携・協力できる場をつくり、まちづくりのさまざまな課題に取り組んでいます。（理事長 昌子住江）



* 東京湾から引き揚げられた戦跡「第三海堡」

＝毎月第一日曜日 10～15 時ガイド付見学OK、団体は要予約@500 円



* 交流の場「こみゆに亭カフェ」

＝喫茶、野菜や手づくり品販売

NPO法人安房文化遺産フォーラム とは…

<http://bunka-isan.awa.jp/>

地図を逆さに見てみると、房総半島南端の千葉県館山市は、弧を描いた日本列島の中心で、太平洋に突き出た海路の拠点であることに気がつきます。足もとにある戦争遺跡や里見氏城跡群、青木繁《海の幸》誕生ゆかりの漁村、日本一隆起した地層（ジオパーク）など、豊かな景観や歴史的環境は、地域まるごと野外博物館そのものです。今年度は、地域の文化遺産を保存活用する人材（ヘリテージマネージャー）講座を開催します。次回は、8月27日（火）木更津・富津方面の東京湾要塞戦跡フィールドワークを行ないます。（理事長 愛沢伸雄）



* 赤山地下壕跡＝毎月第一日曜午前にガイドサービス有



* 小高記念館

＝NPO活動拠点
大正期の銀行建物

* 青木繁《海の幸》
誕生の家と記念碑
を保存する会

安房国再発見!
布良^{めら}という聖地へ
行こう
青木繁が《海の幸》を描いた漁村
画家の愛した漁村は
布良星（カノープス）が輝く
神話のふるさと

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会
事務局：NPO 法人安房文化遺産フォーラム
〒294-0036 千葉県館山市館山95 小高記念館
TEL & FAX 0470-22-8271

文化庁「地域の文化遺産を活かした観光資源と地域活性化事業」